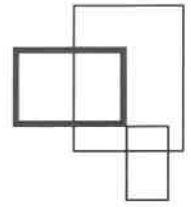




Matsuyama
Business
College

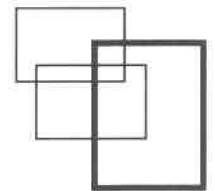
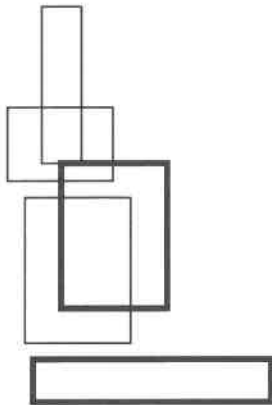


松山デザイナー専門学校

ファッションビューティ研究科

2022 年度

シラバス



名前

※一年間、各自保管すること

服飾家政専門課程 ファッションビューティ研究科

必修/ 選択	区分	科目名	種別	担当者	ファッションビューティ 研究科		
					前期	後期	単位
必修							
		FBゼミV	実習	大野他	30		1
		ファッションデザイン研究V	実習	大野他	30		1
		テキスタイルII	実習	神田	30		1
		服飾造形IX	実習	大野他	210		7
		デザイン画IV	実習	智内	30		1
		パターンメイキング2級筆記検定対策	講義	大野	30		2
		パターンメイキング2級実技検定対策	実習	大野	60		2
		立体裁断II	実習	大野	30		1
		FBゼミVI	実習	大野他		30	1
		卒業研究II	実習	大野		150	5
		服飾造形X	実習	大野他		210	7
					450	390	29
必修科目 合計					840		29
選択							
		Mac応用・デザインI	実習	野田	30		1
		Mac応用・デザインII	実習	野田		30	1
選択科目 合計							
年間合計時間/単位数					840		29

- 1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。
- 2 選択科目は、小計欄に記載されている時間数及び単位数以上になるよう履修すること。
- 3 選択科目の時間数及び単位数は、履修開始時期にのみ記載し、次年度以降も履修可能とする。

授業科目	FBゼミV			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野幸美、神田瑞穂、智内菜奈子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	後期に行われる卒業制作展の作品の撮影を学生自らが構成し、シューティングをするうえで必要な項目を理解し運営する。						
学習到達 目標	自身がイメージするビジュアルの企画、撮影、編集の作業がひと通りできるようになる。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	作品制作撮影	撮影イメージ考案、調査、ロケハン					
3・4	〃	ヘアメイク、スタイリング考案					
5～9	〃	撮影					
10～14	〃	編集					
15	〃	発表・フィードバック					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	イメージマップ30%、スタイリング考案30%、発表40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッションデザイン研究Ⅴ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野 幸美、神田 瑞穂、智内菜奈子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	デザインや素材への調査・研究、制作技術の研鑽を図り、センスや感性を磨く。						
学習到達 目標	自身の意見や考えをデザインブックや資料を作り、伝えることができる。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	アパレルライン デザイン考案	コンセプト設定、資料作成、デザイン考案					
2		進捗確認、フィードバック					
3		デザインブック作成					
4		コンペ準備					
5	アパレルライン デザイン考案	発表、フィードバック、修正					
6・7		最終デザイン					
8・9	校内デザインコンテスト デザイン考案	コンセプト設定、資料作成、デザイン考案					
10		進捗確認・フィードバック					
11		デザインブック作成					
12	校内デザインコンテスト コンペ	コンペ準備					
13		発表・フィードバック・修正					
14・15		最終デザイン					
使用テキスト 教材・教具	A4ファイル、USB、他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	資料作成30%、デザイン考案30%、デザインブック40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点		検定試験の 概要					
備考							

授業科目	テキスタイルⅡ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	テキスタイルは、実用的なものからアーティスティックなものまで奥深く表現ができる。また、Tシャツやバッグ、生地など身近なものにも転用でき、「買っているもの」「使っているもの」から「創るもの」に変わっていく魅力を感じ、作品制作に活かす。						
学習到達 目標	テキスタイルの応用。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	プラ板	デザイン考案・制作					
2	墨流し	墨流しとは					
3・4	〃	墨流し考案・制作					
5・6	ディテールブック	3種考案 A4サイズ実物制作					
7・8	草木染	染色サンプル:玉ねぎ・若藍・茄子・緑茶・麦茶・紅茶・ハイビスカスティ					
9	〃	まとめ					
10	シルクスクリーン	デザイン考案					
11	シルクスクリーン 美術館	写真製版法:スクリーン張り					
12・13	〃	写真製版法:製版					
14・15	〃	写真製版法:刷り・落版					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	ノート30%、作品70% (提出作品3点以上のデザイン性、ポートフォリオのまとめ方など)の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	服飾造形区			時間数 (コマ数)	210 (105)	単位数	7
担当教員 (資格等)	大野 幸美、神田 瑞穂、智内 菜奈子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	ファッションショーに出品する作品制作。ショー的効果を考えたコーディネートも考える。また、ポートフォリオの素材も準備しながら、各種コンテスト入賞も目指す。						
学習到達 目標	オリジナル作品を制作する。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～3	学祭新作(15コマ)		製図、裁断、布の仮縫い				
4～14	"		縫製～床上がり				
15	"		スタイリング、まとめ、作品発表				
16～18	作品制作①(15コマ) アパレルライン		製図、裁断、布の仮縫い				
19～29	"		縫製～床上がり				
30	"		スタイリング、まとめ、作品発表				
31～33	作品制作②(15コマ) アパレルライン		製図、裁断、布の仮縫い				
34～44	"		縫製～床上がり				
45	"		スタイリング、まとめ、作品発表				
46～53	校内デザインコンテスト 2体展開(30コマ)		製図、裁断、トワル組み				
54～55	"		審査会				
56～59	"		修正、裁断				
60～68	"		縫製				
69～75	"		床上がり、仕上げ、スタイリング、まとめ、作品発表				
76～105	特別授業(30コマ)		野口先生製品研究				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品のデザイン性30%、仮縫20%、完成度30%、スピード20%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	デザイン画Ⅳ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	智内 菜奈子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	様々なコンテストに挑戦し、自分なりのデザインスタイルを見つけ、さらなる向上を目指す。						
学習到達 目標	デザインコンテスト入賞。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	デザイン発想	9つのデザイン発想の仕方(例:シャツワンピースを变形)					
2	〃	9つのデザイン発想の仕方、デザインブックのまとめ方					
3	ディテールブック	身頃、衿、袖					
4	〃	スカート、パンツ					
5	〃	ジャケット、ワンピース					
6	全国ファッション	デザイン発想、デザイン考案					
7	〃	デザイン考案					
8	〃	下書き、着色、まとめ					
9	〃	着色、まとめ					
10	日暮里ファッション	デザイン発想、デザイン考案					
11	〃	下書き、着色、まとめ					
12	新宿ファッション	デザイン発想、デザイン考案					
13	〃	デザイン考案					
14	〃	下書き、着色、まとめ					
15	〃	着色、まとめ					
使用テキスト 教材・教具	画用紙、ペン、他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	アイデア発想力40%、作品評価60%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	パターンメイキング2級 筆記検定対策			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	パターンメイキング技術検定試験2級合格を目的とし、企業のパターンメーカーとして対応できる工業用パターンに関する専門知識・技術、グレーディング技術の習得。						
学習到達 目標	パターンメイキング技術検定試験2級合格。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	パターンメイキング理論	アパレル企業のパターンメイキング、人体とパターン、体型の理解 他					
3～6	ファーストパターンメイキング	ジャケットパターンメイキング(縮尺)					
7	〃	ドレーピングの知識					
8	工業用パターンメイキング	工業パターンメイキングの知識					
9・10	〃	工業用パターンメイキング					
11～13	グレーディング	グレーディングとは、グレーディング実技					
14	素材	素材とパターンメイキング					
15	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	オリジナルプリント						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト40%、修了テスト60%比率で評価する。						
履修上の 留意点		検定試験の 概要	パターンメイキング技術検定2級筆記 2022年7月2日(土) 広島にて受験				
備考	広島会場にて受験。試験会場までの交通費は、学校規定による交通費を後日支給。 規定を上回る金額については自己負担。						

授業科目	パターンメイキング2級 実技検定対策			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	ジャケットのパターンメイキング、トレース、シーチング組立て、ファーストパターン作成の一連の作業を3時間半で完成させるようにする。						
学習到達 目標	パターンメイキング技術検定試験2級合格。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～5	パターンの理解	出題されるジャケットA、Bのパターンメイキング					
6～30	実技練習	A、Bのデザインジャケットの反復練習					
使用テキスト 教材・教具	シーチング、他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	Aジャケット模擬テスト50%、Bジャケット模擬テスト50%						
履修上の 留意点		検定試験の 概要	パターンメイキング技術検定試験2級(実技) 2022年9月10日(土)				
備考	広島会場にて受験。試験会場までの交通費は、学校規定による交通費を後日支給。規定を上回る金額については自己負担。						

授業科目	立体裁断Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	トップスのドレーピング法を学び、オリジナルデザインに対応できるようにする。						
学習到達 目標	ドレーピングでのパターン制作。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～3	ワンピース	ウエスト切り替えワンピース(プリンセスライン)					
4～7	ドレーピング①	コレクション雑誌から読み解きドレーピングに落とし込む					
8～11	ドレーピング②	コレクション雑誌から読み解きドレーピングに落とし込む					
12～15	ドレーピング③	ハンガーイラストから読み解きドレーピングに落とし込む					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	ワンピース20%、ドレーピング①20%、ドレーピング②20%、ドレーピング③40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	FBゼミⅥ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野幸美、神田瑞穂、智内菜奈子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	後期に行われる卒業制作展の作品の撮影を学生自らが構成し、シューティングをするうえで必要な項目を理解し運営する。						
学習到達 目標	自身がイメージするビジュアルの企画、撮影、編集の作業がひと通りできるようになる。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	作品制作撮影	撮影イメージ考案、調査、ロケハン					
3・4	〃	ヘアメイク、スタイリング考案					
5～9	〃	撮影					
10～14	〃	編集					
15	〃	発表・フィードバック					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	イメージマップ30%、スタイリング考案30%、発表40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	卒業研究Ⅱ			時間数 (コマ数)	150 (75)	単位数	5
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	これまでの学生生活の集大成となる作品を創り、作品集とポートフォリオに残す。						
学習到達 目標	卒業進級制作展で作品発表。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし 多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～8	卒業制作(2体以上)	デザイン考案、デザインブック制作					
9～26	〃	パターン、仮縫い準備、審査会					
27～71	〃	修正、本縫い、仕上げ					
72～75	〃	まとめ、スタイリング					
使用テキスト 教材・教具	布、副資材他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	デザイン画20%、デザインブック20%、パターン20%、作品40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	服飾造形Ⅹ			時間数 (コマ数)	210 (105)	単位数	7
担当教員 (資格等)	大野 幸美、神田 瑞穂、智内 菜奈子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	デザイン性を重視し、魅せる衣装作りをする。						
学習到達 目標	各種コンテスト入賞。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし 多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～8	パンフレット(30コマ)	製図、裁断、布の仮縫い					
9～22	〃	縫製					
23～28	〃	袖付・床上がり					
29～30	〃	スタイリング、まとめ、作品発表					
31～75	オートクチュール立体(45コマ)	海外方式					
76～105	特別授業(30コマ)	野口先生製品研究					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品のデザイン性30%、仮縫20%、完成度30%、スピード20%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	Mac応用・デザイン I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	デザイン業務で必要不可欠なソフトであるAdobe IllustratorとPhotoshopの役割と基本操作を実践的な作業を通して学び、データ作成時のルールと知識を身につける。						
学習到達 目標	実際の現場で通用する技術と知識を身につける。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	復習	Illustrator、Photoshopの操作方法の復習					
2～3	ポートフォリオ	ポートフォリオの考え方(構成・要素)					
4～5	〃	レイアウト					
6～7	〃	ハンガーイラスト					
8～9	〃	デザイン画着色					
10～11	〃	画像加工、編集					
12～13	〃	ポートフォリオまとめ					
14	まとめ	前期まとめ					
15	テスト	修了テスト					
		ファッションショーやイベントのDM作成					
使用テキスト 教材・教具	USB 4GB						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品70%、修了テスト30%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	Mac応用・デザインⅡ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	デザイン業務で必要不可欠なソフトであるAdobe IllustratorとPhotoshopの役割と基本操作を実践的な作業を通して学び、データ作成時のルールと知識を身につける。						
学習到達 目標	実際の現場で通用する技術と知識を身につける。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	復習	Illustrator、Photoshopの操作方法の復習					
2～3	マップ作成	企業デザインからマップを作成					
4～7	ポートフォリオ	企業用					
8～13	ポートフォリオ	作品集					
14	まとめ	後期まとめ					
15	テスト	修了テスト					
		ファッションショーやイベントのDM作成					
使用テキスト 教材・教具	USB 4GB						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品70%、修了テスト30%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							